



▲通詞島を目ざし元気にスタート！



▲潮風を受けながら“渡し船”を体験する参加者

二江ぐるっとウォーク

五和

盛りだくさんの催しに大満足！

5月22日、「二江ぐるっとウォーク」が開かれ、五和漁村センターを出発し通詞島を目ざす8kmと5kmのコースに、県内外から約200人が参加しました。

これは、二江まちづくり振興会が実施しているもので、今回で4回目。この日は、集落ごとに恵比須祭りも開催され、参加者は道中にまつられた恵比須様をお参りし、お神酒や赤飯などを堪能。また、ゴール後は同島に用意された漁船に乗り、通詞大橋が架かる前に行われていた対岸までの“渡し船”を体験したほか、同センターではアワビの炭焼きやメカプ入りのみそ汁もふるまわれるなど、盛りだくさんの催しに大満足のひとときを過ごしていました。

天草文化交流館がくまもとアートポリス推進賞を受賞 本渡

市の文化交流拠点を選れた建築物に選定

このほど、国の登録有形文化財に指定されている天草文化交流館（船之尾町）が、第16回くまもとアートポリス推進賞を受賞しました。同賞は、県が都市や建築文化の向上を図ることなどを目的に推進している、“熊本アートポリス事業”の一環として、優れた建造物などを顕彰しようと創設されたもの。今回、同館が歴史的建築にこだわりながら、地域づくりに寄与している点が高く評価され、県内51件の応募の中から選ばれました。

また、5月19日には県庁で表彰式が行われ、森口勝行館長が表彰状を受け取りました。森口館長は、「価値ある建物を大切にしながら、有効に活用していきたい」と話していました。



▲天草文化交流館



▲表彰状を受け取る森口館長（右）

下田温泉祭

天草

700年の歴史ある温泉に感謝！

5月14・15日、「下田温泉祭」が同温泉街一帯で開催されました。これは、温泉の恵みに感謝しようと同祭実行委員会と下田北地区振興会が毎年実施しているもの。メインの15日は、呼び物の一つであるお湯かけ女神輿が行われ、神輿を担いだ女性が沿道からのお湯を浴びながら、「ヨイヨイ、ヨイヤサ」の掛け声とともに温泉街を練り歩きました。このほか、ブリのつかみどりやステージイベントなども行われ、約8,000人の人出でにぎわいました。



▲お湯を浴びながら神輿を担ぐ女性たち



▲大漁賞・大物賞を受賞した参加者

倉岳海開き釣り大会

倉岳

雨にも負けず大漁・大物を狙う

6月5日、(社)天草宝島観光協会・倉岳支部主催の「倉岳海開き釣り大会」が開催され、市内外から12組48人が参加しました。大会では、まず宮田港で大漁を祈願し神事が行なわれた後、参加者を乗せた船が鹿児島県の獅子島周辺へ向け出港。この日はあいにくの雨となりましたが、参加者どうしが腕を競いあい、1隻で34kgを釣り上げたチームが“大漁賞”、全長66.9cmのココダイを釣り上げた人が“大物賞”を獲得。納得の釣果に笑顔を見せていました。



▲タコ料理がずらりと並んだ試食会

天草ありあけタコ八料理フェア開催中 有明

旬のタコを食べて夏を乗り切ろう！

有明町内の民宿6軒で組織する有明町民宿組合では、特産のタコをふんだんに使った料理8品を提供する「天草ありあけタコ八料理フェア」を、1年を通して開催しています。6月1日には、タコが旬を迎える時期にあわせて同フェアを広くPRしようと、関係者などを招いて試食会を実施。参加者は、タコ飯やタコステーキなど、タコづくしの料理に舌鼓を打っていました。

なお、宿泊や食事料金などの詳細は、(社)天草宝島観光協会・有明支部（道の駅・有明リップランド内）☎0965-1565へお尋ねください。

御所浦への修学旅行生が1万人を突破 御所浦

ようこそ！修学旅行のメッカ“御所浦”へ

5月31日、御所浦町を訪れた修学旅行生が1万人を突破しました。同町では、平成13年から御所浦アイランドツーリズム推進協議会により、修学旅行生の受け入れがスタート。一般の家庭で寝泊りをする民泊体験のほか、化石採集や伝馬舟のろこぎなどが好評を博し、西日本の中学生を中心に毎年約1,000人が訪れています。記念すべき1万人を突破したのは、兵庫県神戸市立渚中学校の3年生99人。この日は、御所浦島開発総合センターで記念セレモニーが開かれ、同校の生徒や関係者などが記念のくす玉を割り、節目を祝いました。



▲記念のくす玉を割るようす